

戦争の日本古代史 好太王碑、白村江から刀伊の入寇まで
(講談社現代新書)

戦争の日本古代史

好太王碑、白村江から刀伊の入寇まで

倉本一宏

白村江 史上最大の 「敗戦」

帝国日本の源流を探る
第一線の古代史研究者が
描き出す決定版!

好太王碑が語る対高句麗戦惨敗の衝撃、
壬申の乱と北東アジア情勢、藤原仲麻呂政権の新羅征討計画、
藤原道長らを襲った「刀伊の入寇」……

講談社現代新書

発売日: 2017年5月26日

出版: 講談社

著者: 倉本一宏

ページ: 252

PDF

今日の近隣諸国との関係は、近現代史を追うだけではわからない！好太王碑が語る対高句麗戦惨敗の衝撃。史上最大の敗戦「白村江」。壬申の乱と北東アジア情勢。藤原仲麻呂独裁政権の新羅征討計画。藤原道長ら平安貴族を襲った「刀伊の入寇」。話題作『蘇我氏』の著者が帝国日本の源流を探り、日本人の「異国」観がつくられていく過程を辿る、日本古代史の決定版！

<https://k2s.cc/file/8905a262c0c11/mOz3tLwYH.pdf.rar>